



遠野
遺産

遠野遺産認定第72号 無形文化遺産(芸能) 2008年11月5日認定
所有者 湧水神楽保存会
推薦者 湧水神楽保存会

第21回
湧水神楽



MEMO

㊦ 駒形神社例祭、オボスナの祭り、
日本のふるさと遠野まつり
㊧ 宮守地区センター(☎@2115)

湧水神楽は、宮守町達曽部涌水地区に伝わる早池峰神楽の流れをくむ神楽です。
1932(昭和7)年に、外川目村(現在の花巻市大迫町外川目)の合石地区から炭焼きに来ていた人が伝えて成立しました。戦時中、兵士の無事を祈り神様を出征させることが多く、この地区でも「神送り」をするため、神楽が始まったといわれています。
以前は、近隣の附馬牛町や大迫町外川目などに門掛けをしたとされますが、現在は達曽部中齊地区の駒形神社、湧水地区で行われるオボスナの祭りで奉納されています。

ホット
ひといき



新年あけましておめでとうございます

2010年、トラ年。いよいよ『遠野物語』発刊100周年の節目の年を迎えました。この記念すべき年に、市内のさまざまな動き「一挙手一投足」をくまなく記録する広報でありたいと思っています。今年もいろいろなことにトライします。どうぞよろしくお願ひします。(馬場)

「お客様、細いですね」の言葉に、ちよっとキツいという自覚症状があるにも関わらず気分を良くしてスーツを即購入。次の日早速着たら、仕事に集中できないくらいキツい。やむなくウエストを広げてもらいました。今年の目標は見通しを持った行動をすることです。こんなわたしですが、今年は頑張ります。(熊谷)